

- コース距離：11.3km
- 歩行時間：5.0時間

- 1 舎人公園駅
↓0.2km
- 2 舎人公園
↓3.5km
- 3 西新井大師
↓1.8km
- 4 中曽根城跡
↓3.5km
- 5 小菅拘置所
↓2.0km
- 6 堀切菖蒲園
↓2.7km
- 7 葛飾区郷土と天文の博物館
↓1.1km
- 8 曳舟川親水公園
↓0.5km
- 9 亀有駅



9 亀有駅
JR東日本常磐線の駅。明治30(1897)年、日本鉄道の駅として開設された。東京メトロ千代田線と小田急線との直通運行も行われている。亀有が週刊少年ジャンプに連載されていた「こちら葛飾区亀有公園前派出所」の舞台となったことから駅周辺には主人公両さんなどの登場キャラクター像が設置されている。



快汗ウォーキングコース

舎人公園駅から
西新井大師、中曽根城址、
堀切菖蒲園、曳舟川親水公園などを
巡りながら歩く半日コース

西新井大師名物の
おだんご



1 舎人公園駅
尾久橋通りの上を通る日暮里・舎人ライナーの駅。平成20(2008)年開業の駅で舎人公園の中央部に作られている。1日の乗降人数は約4600人。



2 舎人公園
約63ヘクタール(東京ドーム13個分)の敷地面積を持つ都立公園。都立公園の中では水元公園、葛西臨海公園に次いで3番目に広い。敷地は尾久橋通りによって東西に分かれている。陸上競技場やテニスコート、野球場などのスポーツ施設のほか、大池や親水公園、キャンプ場、バードサンクチュアリなど自然に親しむスペースが整備されている。

3 総持寺(西新井大師)
空海(弘法大師)によって天長3(826)年に建立されたとされ、西新井大師の通称で親しまれている真言宗の寺院。川崎大師、観福寺大師堂とともに「関東三大厄除け大師」の一つとなっている。本堂の西側に密教の加持祈祷の際に使われる水の井戸があり、それが西新井の名の由来になったとされる。昭和41(1966)年に本堂が火災により消失したが、昭和46(1971)年に再建された。

4 中曽根城跡
戦国時代に足立区一帯を治めていた千葉次郎勝胤が築いた中曽根城があった場所。武蔵千葉氏の本拠である赤塚城(現在の板橋区)の支城だったとされる。天正18(1590)年の豊臣秀吉による「小田原征伐」によって北条氏が滅ぶと北条氏の配下にあった千葉氏も城を去り、廃城となった。現在、境内には中曽根神社や城跡の石碑が建てられている。

5 小菅拘置所
江戸時代には関東代官の伊奈氏邸宅があった場所だったが、明治時代に小菅監獄(のち小菅刑務所に改称)がおかれた。現在は刑務所としての役割は終えており、未決拘禁者、死刑確定者、他施設への移送待ちの懲役受刑者の拘置所となっている。刑事被告人を収容する施設としては日本最大の規模を持っている。



6 堀切菖蒲園
江戸系花菖蒲を中心に200種6000株の花菖蒲が植えられている。6月に開催される「堀切かつしか菖蒲まつり」では地元住民・商店街・行政などの共催でパレードなどのイベントが行われる。江戸時代には「江戸百景」のひとつとして、鈴木春信、歌川広重の浮世絵にも描かれている。



7 葛飾区郷土と天文の博物館
葛飾区白鳥にある区立の博物館。館内には葛飾と水とのかわかりが展示されている郷土展示室、プラネタリウム、天体観測室、太陽望遠鏡、地球の自転現象を示すフーコーの振り子などの施設があり、葛飾の郷土の歴史と宇宙の仕組みなどについても学ぶことができる。

